

立命館大学サービスラーニングセンターで “学生コーディネーター”に挑戦しませんか？

“学生コーディネーター”とは？

学生コーディネーター(以下学生 Co)は、立命館大学サービスラーニングセンター(以下 SLC)で、学生と地域をつなぐ「ピアサポーター」として活動しています。ミッション&ポリシーに基づいて、学生のボランティア活動や地域社会への貢献活動を促進するために相談対応、活動に関する情報の収集や発信、地域と学生が会えるきっかけとなるプログラムの企画・運営などを行っています。



立命館大学サービスラーニングセンター ミッション&ポリシー

ミッション（基本理念）

1. サービスラーニングの普及により、学生のシチズンシップ（ボランティアマインド等）を涵養する。
2. サービスラーニングに関わる調査、研究を行い、参加型学習プログラムを開発・運営する。
3. ボランティアなどの社会貢献・連携活動の情報を収集、編集、提供するとともに、相談、調整を行い、課外活動を支援する。
4. 社会貢献・連携活動に関わる地域・市民・団体・機関とのネットワークを構築する。
5. 学生と地域・市民・団体・機関との交流窓口として、両者に必要な活動や資源をコーディネートする。

ポリシー（行動原則）

1. 広い視野と見識を持つ地球市民を育成するために、変化する地域・社会や地域コミュニティのあり方に常に関心を向ける。
2. 正課・正課外の両方において学生の主体的な学びが尊重されるよう、個と集団の両方が成長する適切なプログラムが提供できているか絶えず見直す。
3. 参加型学習によって専門学習やキャリア・パスへの接続がもたらされるよう、サービスラーニングやボランティア活動の機会を拡充する。
4. 主体的な学びの成果を全学にフィードバックできるよう、現場の教育力の評価や学習環境の条件整備のための客観的な指標の確立につとめ、積極的に用いていく。
5. 地域・市民・団体・機関等と学生のニーズのすりあわせは、学生および地域・社会の双方の将来を展望した上で行う。

SLC の主な取り組み

ボランティア相談への対応と環境整備

- ・地域のボランティア情報を集め、学生に提供
- ・ボランティアに参加したい学生の関心がある分野、活動地域、期間など希望に沿った活動が見つかるよう、サポート

課外サービスラーニングプログラムの実施

- ・大船渡盛町七夕まつりサポートプロジェクト
- ・祇園祭菊水鉾ボランティア
- ・循環型農業体験プログラム
- ・高島ワークキャンプ
- ・あつまれ！課外活動の森 など

サービスラーニング科目（教養C群）の開講

- ・地域参加学習入門
- ・現代社会とボランティア
- ・現代社会のフィールドワーク
- ・シチズンシップ・スタディーズ



↑
科目の
紹介はこちら

センター長からのメッセージ

共通教育推進機構教授 山口 洋典

学生コーディネーター制度は2005年に衣笠キャンパスにおいて立命館大学ボランティアセンターに導入されました。びわこ・くさつキャンパスでも2007年から募集が始まっています。

その後、ボランティアセンターは課外活動だけでなく正課科目の企画・運営も積極的に担うことから、2008年にサービスラーニングセンターへと拡充されました。2015年の大阪いばらきキャンパス開学以降は、各キャンパスの特徴が活かされる地域連携を進めています。

学生コーディネーターは公募の後に選考を経てセンター長から任命されるピアサポーターです。サービスラーニングセンターの存在や役割のさらなる充実のため、ボランティア希望者とボランティア活動の現場を結び、学生の地域参加を促す調整役となる皆さんからの応募を期待しています。



2025 年度春学期サービスラーニングセンター学生コーディネーター募集要項

◆活動内容

学生 Co は、教職員とともに、立命館大学 SLC が掲げるミッション＆ポリシーの実現に向けて、学生と地域をつなぐ活動をしています。

●ボランティア相談への対応と環境の整備

- ・地域、NPO・NGOやボランティア団体の情報収集や開拓、ニーズの受け止め、関係性の構築
- ・学生から寄せられるボランティアや地域活動に関する相談対応
- ・学生に向けてのボランティアや地域活動についての啓発・促進・情報発信

●課外サービスラーニングプログラムの企画運営

- ・学生に地域参加の機会を提供するサービスラーニングプログラムの企画・運営
- ・学生団体の情報収集、学生団体の活動サポート、活動創出支援
- ・SLC 主催企画の運営

●サービスラーニング科目(教養 C 群)の運営補助

- ・サービスラーニング科目受講生の地域での活動や、教室での学びの促進・支援(ES(教育サポーターとして授業の運営補助を行うアルバイトスタッフ)など)
- ・科目の活動報告会などの発表機会における運営協力



◆活動条件

- ・活動キャンパスは所属キャンパスとなります。
 - ・採用後の新メンバー研修、年度末研修など 3 キャンパス合同研修は参加必須です。
 - ・学生 Co の活動は原則無給です。ただし、以下の費用については補助を行います。
 - ▶プログラムの実施にかかる経費(消耗品費、団体との打ち合わせの際の交通費など)
 - ▶活動のスキルアップにかかる経費(SLC が指定する研修プログラムの受講費および交通費) 等
- * ボランティアコーディネーション力検定の受検を推奨します

研修	開催予定
新メンバー研修 (春)	5月
他大学訪問	9月
新メンバー研修 (秋)	10月
チーム力向上研修	12月
年度末振り返り研修	3月

◆活動期間

- ・原則、採用されてから本学を卒業修了するまで
- ▶半年ごとにシートや面談で活動のふりかえりと継続の意思確認を行います
- ▶本人と事務局の相談の上、活動の辞退や休止を決める場合や、活動状況によっては継続を認めない場合があります



◆応募資格: 次の1～4 の条件を満たすこと

1. 立命館大学に在学中の学部生、院生であること。
2. 立命館大学 SLC のミッション＆ポリシーに賛同し、自分自身を含めた本学学生がボランティアや地域活動、社会貢献活動へと参加し、その経験から学びを深める「サービスラーニング」の発展に寄与する意思があること。
3. 以下の①もしくは②のいずれかの経験がある(または、現在している)こと。①ボランティアや地域貢献活動の経験(小～高校時代の経験、大学でのプログラムへの参加、ボランティア系サークルでの活動など)、②サービスラーニング科目(教養 C 群、詳細は下記参照)の受講(今学期の受講も含む)
4. SLC が実施する募集ガイダンスに参加していること。

◆募集人数 各キャンパス 5 名程度

◆募集ガイダンス 下記 HP より各キャンパスのガイダンス日程を確認の上ご参加ください

<https://www.ritsumeai.ac.jp/slc/event/detail/?id=481>

※ どうしても都合があわない場合、各キャンパスの SLC 事務局までご連絡ください

◆選考面接 応募フォームに記載された志望動機や、面接内容をもとに選考を行います。

選考は、以下の内容をもとに評価します。

- ・SLC での活動への知識(サービスマーケティングやボランティアコーディネーションの基本的な理解)
- ・SLC での活動への意欲(学生 Co として達成したいことや、なりたい姿、活動で生かしたい経験など)
- ・自分の意見や想いを伝えられる、また、他者の声に向き合うことができるコミュニケーションスキル

※明らかに SLC や学生 Co としての活動について理解ができていない場合は、登録をお断りする場合もございます

応募から活動開始までの流れ

4/7(月) ～ 4/18(金)	《募集ガイダンス》各キャンパスで実施されるガイダンスにご参加ください。 *応募にあたって、ガイダンスへの参加は必須とします
ガイダンス参加 ～4/27(日)	《体験期間》 ガイダンスを受け、募集要項をよく読んだ上で、学生 Co として活動したい方は、各キャンパスの学生 Co の活動(ボランティア相談・ミーティングなど)に参加してください。
～4/30(水)	《正式応募》 学生 Co を志望される方は、志望理由等を入力の上フォームで応募ください。
5/7(水)～ 5/9(金)	《選考面接》 応募いただいた方の選考面接を実施します。
5/14(水)	《採否発表》manaba+R にて決定通知を送付します。登録フォームに必要事項を入力してください。
5/31(土)	3 キャンパス合同 任命式&新メンバー研修

◆任命式&新メンバー研修 2025 年 5 月 31 日(土) @BKC びわこくさつキャンパス

***登録を希望される方は原則参加必須ですので、予定を空けておいてください**

よくある質問

Q1. この活動はボランティアサークルですか？

A1. 答は「No」です。「学生 Co」は、ボランティアサークルではなく、SLC に所属して活動する「ピアサポーター」です。教職員と協働しながら、学生のボランティア理解や参加を促進するための取り組みを行っています。

Q2. 研修はどのようなことをするのでしょうか？

A2. 学生 Co は、「ボランティアコーディネーター」として、同じ学生の視点から学生の活動を支援します。そのために、ボランティアに関する正しい理解や、地域と学生をつなぐこと(ボランティアコーディネート)に関する講義、ワークショップ等の研修、活動をふりかえるリフレクションも行っています。

Q3. 私は、地域でのボランティア活動に参加しています。活動とコーディネーターの両立は可能でしょうか？

A3. 答は「Yes」です。学生 Co は、ボランティア活動の啓発・推進を担う役割を期待されていることから、個人としてボランティアなどで関わっているテーマや地域(フィールド)を持つことが望まれます。したがって、ボランティア活動と学生 Co としての活動を両立させることは可能であるだけでなく、むしろ積極的に学内外のボランティアサークル、NPO、NGO等で活動し、その経験を発信することが期待されます。

学生コーディネーターからのメッセージ

衣笠キャンパス 法学部 3 回生 向井 徳真さん



私は、衣笠キャンパスに所属していますが、他キャンパス・他大学の学生コーディネーターと一緒に活動する機会も多いです。普段の活動では得られない新たな視点を得ながら活動でき、とても刺激を受けています。特に、自分と同じ立場で活動している方々と、活動の課題や悩みを共有し、共に考え合える仲間ができたことは、大きな財産です。

このように同じ立場の人とつながることができるのも、学生コーディネーターの活動の魅力の一つだと感じています。

びわこ・くさつキャンパス 経済学部 3 回生 森 雅音さん

学生コーディネーターは、学生と地域を繋ぐ架け橋です。学生が地域に関わることで、地域の活性化を促進できると考えています。私たち学生コーディネーターは、学生と地域の双方が円滑に活動できるよう、日々サポートを行っています。

また、私自身も地域での活動を通じて、新たな視点での気づきや学び、そして様々な出会いがあり、大変充実した時間を過ごしています。興味があればぜひガイダンスに参加してみてください。



大阪いばらきキャンパス 政策科学部 3 回生 藤尾 菜津さん



サービスラーニング科目の ES 活動を通じて、受講生が地域に前向きに関わる姿や、地域に関心の高い仲間と共に学びながら学習支援ができたことに、学生コーディネーターとして大きなやりがいを感じました。

また、学生が地域やボランティア活動に参加できるような企画を考え、実際に地域に出て学生と地域を繋げる仲介ができること、さらに、地域の方々や教職員、仲間と出会い、刺激を受けながら活動できることも、学生コーディネーターの魅力です。こうした大学の授業では学べない経験を通じて、自分自身の成長にもつなげることができています。

学生 Co の活動を通して以下のような姿勢や素養を身につけることを目指します

【Facilitation】

サービスラーニング科目でのESや、ボランティアコーディネーターとして正課内外で学生の地域活動や学びを促す

【Coordination】

活動フィールドとなる地域や団体、学生と、共感を軸にした関係性を築き、学生と地域を対等になく

【Citizenship】

地域社会や社会課題に目を向けて、社会の担い手の一員としてのマインドを持ち、自ら行動を起こすことができる

